第14日中公法学シンポジウム（中国社会科学院）の概要・その２ 2018.8.14現在

●開催日　2018年10月21日（日）

●開催校　北京・中国社会科学院

●開催責任者 莫 紀宏教授、法学研究所副院長

●会場 中国社会科学院法学研究所会議室（北京市东城区沙滩北街15号）

●テーマ 「法治国家の法理」

●会議日程と報告者（日本側）

(1) 開会式（日本側代表（1名）挨拶）

(2) 午前 第1セッション「憲法原理」（日本側報告3名とコメント3名）。

　(3) 午後 第2セッション「法治行政」（日本側報告3名とコメント3名）

(4) 午後 第3セッション「討論」

(5) 閉会式（日本側代表（1名）挨拶）。

●参加形態

・参加は、自由参加とする。旅費・宿泊費は参加者の自己負担。

・参加費なし。ただし、日本側で準備費を徴収する可能性がある。

・挨拶、コメント、報告を担当する日本側の参加者に小額の謝礼の用意あり。

●日本側参加者

・参加は、上記の条件にしたがう限り、憲法・行政法・中国法研究者であれば誰でも参加可能。参加人数が多数になってもよい。

・報告者・コメンテーターは、参加希望者のうち報告希望を募り、また、報告・コメントを別途依頼などして、最終的に日本側実行委員会・理事会にて決定する。

●日本側報告者の事前準備

・中国側指定により、憲法・行政法それぞれ、最大で、報告者3名、コメンテーター3名

・報告希望者が出張旅費支給の条件として報告・コメントを希望する場合には、配慮する。

・報告者は、9月末日までに日本語報告原稿を事務局に提出する（期日厳守）。報告時間は30分以内。1万字程度。

・テーマは自由に決定してよい。新たな書き下ろし原稿でなくてよく、既発表のものでよい。難解な学術論文よりも、中国人研究者の関心を引くものがよい。

●見学・ツアー　特別な企画は、今回は行わない。

●今後のスケジュール

1. 8月31日までに、報告者、コメンテーター、参加者の希望の集約
2. 9月10日まで　報告者、コメンテーターその他の参加者の確定
3. 9月15日まで、日本側参加者リスト（参加日程、宿泊施設、利用航空便）の作成、中国側へ送信
4. 8月～9月30日　報告者による報告原稿の作成。

ご連絡

日中公法学シンポジウムにつき、多大なご尽力を賜り、誠にありがとうございます。昨年5月の鄭州大学シンポ以降、何の連絡もせず、大変失礼いたしました。中国社会科学院から日程と企画の連絡をなかなかいただけないまま、今日になりました。日程がややつまっていますが、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. このメールは、昨年決まった理事16名と来年の開催校島根大学関係者3名の、以下の方々にまずお送りしました。この方々は日中シンポの企画運営の中心になる方々ですので、ぜひ中国社会科学院シンポにご参加くださるようお願いいたします。

（理事16名）

〔憲法〕戸波江二（早稲田大学）、岡田信弘（北海学園大学）、高良鉄美（琉球大学）、小山剛（慶応義塾大学）、國分典子（名古屋大学）、畑尻剛（中央大学）、西村裕一（北海道大学）、南野森（九州大学）、

〔行政法〕岡田正則（早稲田大学）、周作彩（流通経済大学）、田中孝男（九州大学）、上拂耕生（熊本県立大学）、大貫裕之（中央大学）

〔中国法〕鈴木賢（明治大学）、通山昭治（中央大学）、但見亮（一橋大学）

（島根大学3名）　藤田達朗（副学長）、谷口智紀、大庭沙織

1. 次に、このシンポのご案内を、第1回～13回のシンポジウムに参加された方に送り、参加を募ります。今回は自由参加ということですので、参加希望の方はすべて参加していただくことになります。おな、第1～13回参加者のメールアドレスは、不完全ですが一応整備されており、約100名程度の方に送っています。
2. 理事の皆様のお知り合いの研究者で、中国社会科学院シンポに関心をお持ちの方がおられましたら、お声掛けして下さるようお願いいたします。また、そのお方のメールアドレスを戸波に連絡していただければ、メールを配信いたします。
3. 参加希望者のなかには、学会報告（プログラムへの報告者の記載）を条件として出張旅費が支給されるという方がおられます。その場合には、その方の報告・コメントを優先的にお願いすることがあります。
4. 例年の例ですと、参加者、報告者ともにあまり積極的に申し出られることはありません。理事の皆様、次期開催校の島根大学の皆様には、ぜひよろしくお願い申し上げます。
5. また、報告の申出が少ない場合には、報告者をご推薦いただくこともあると存じます。8月末の前に中間報告を兼ねてまたご相談しますので、よろしくご助言ください。

以上、長文となり、失礼しました。本メールは以下の方々に差し上げました。次ベージの参加・報告に関する返信を、なるべく早くお送りくださいますようお願い申し上げます。

事務責任者　戸波江二（早稲田大学名誉教授）

（返信用）

第14回日中公法学シンポジウム（北京・中国社会科学院2018.10.21）

１．氏名

２．参加について

〇 参加するつもりです。

〇 参加は未定です。

〇 参加しません、できません。

３．報告について

〇 報告の用意があります。(テーマ：　　　　　　　　　　　　　)

〇 報告については未定です。

〇 報告しません、できません

４．連絡事項